

第21回デメンシアカンファレンスを開催

2016年12月21日

12月21日(水)に金沢医科大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)「第21回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院、医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院、谷野呉山病院、福井県立すこやかシルバー病院的10施設が参加しました。

「反社会的行動を伴った認知症症例」のタイトルで、金沢医科大学 高齢医学からの症例報告が進められ、第21回デメンシアカンファレンスは各大学、病院間で活発に質疑応答や意見交換が行われました。



金沢医科大学からの症例報告の様子



金沢医科学会場の様子



各会場の様子

第 21 回 デメンシアカンファレンス 報告要旨

『反社会的行動を伴った認知症症例』

発表者：姫野 太郎（金沢医科大学 高齢医学）

司会：大黒 正志（金沢医科大学 高齢医学）

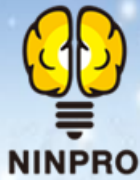
【要旨】

症例は 70 歳男性。主訴は認知機能低下。既往歴に 65 歳白内障手術。62 歳より糖尿病加療中であった。2 年前にバスの運転手をやめた頃より物忘れを自覚。妻にも指摘されるようになった。また、妻に対する異常行動（腕を急に掴んだり、叩いたり）、茶碗を楽器のように叩き続ける行為が増加。性格も攻撃的となり当科外来受診となった。血縁関係者に類症はなかった。受診時、身なりは整っていたが、焦燥的であり、質問には単語で返答するも、終始不機嫌な様子。血圧等を含め身体所見は、特認めず。四肢には、上肢・下肢ともに浮腫などは認めず。神経診察上も腱反射の遅延などの異常認めず。採血データでは、電解質異常も含め特に異常認めず。既往歴に糖尿病があるが、HbA1c は 5.8% であった。長谷川式認知症スケール 29 点、ピックスコア 7 点、GDS スコア 0 点であった。頭部 MRI では、両側前頭葉、両側頭葉優位（右>左）の脳萎縮を認めた。MRA 上、脳動脈瘤や硬化性変化は認めず。脳血流シンチグラムでは、右側頭葉の血流低下を認めた。鑑別疾患として、アルツハイマー型認知症、Lewy 小体型認知症、脳血管性認知症、統合失調症が挙げられた。臨床所見、画像診断、1998 年に示された前頭側頭型認知症の診断基準を満たしていたことから、前頭側頭型認知症として治療を開始した。メマンチン 1 日 20mg にて増悪等なく経過している。

【質問・意見】

質問：メマンチンをこの症例において使用した理由について。

回答：メマンチンは NMDA グルタミン酸受容体拮抗薬であり、細胞内への過剰なカルシウムの流入を減少させることで神経細胞を保護し、過剰なグルタミン酸の神経細胞死や神経変性を促進する神経毒性や学習、記憶にかかる長期増強形成障害を抑制するとされている。本症例において、特に脱抑制行動に効果を示したように、メマンチンが前頭側頭型認知症の周辺症状に奏功し、ADL の改善に寄与する可能性はあり、今後もさらなる検討が必要と思われる。



文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム
北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第21回

デメンシアカンファレンス

平成28年12月21日(水)18:30~20:00

「反社会的行動を伴った 認知症症例」

担 当：金沢医科大学 高齢医学
対 象：参加施設及びその他の施設の医療関係者
(医療系大学の学生を含む)

【会場】認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所

- ・金沢大学(医薬保健学域医学類教育棟地下大多目的室)
- ・富山大学(附属病院2階カンファレンスルーム2)
- ・福井大学(院生棟4階セミナー室)
- ・金沢医科大学(基礎研究棟3階大学院セミナー室)
- ・国立病院機構医王病院(臨床研究棟会議室)
- ・石川県立高松病院(医局会議室)
- ・国立病院機構北陸病院(特殊診療棟2階小会議室)
- ・谷野呉山病院(共通棟1階ミーティング室)
- ・魚津緑ヶ丘病院(5階会議室)
- ・福井県立すこやかシルバー病院(管理棟2階応接室)

※申し込み不要

※出席される方は受付で出席簿に氏名等をご記入ください。
教育コース履修者の方は本人保管用の受講票を受理の上、
検印を受けてください。

*お問い合わせ先 北陸認プロ運営事務局
〒920-8640 金沢市宝町13番1号
TEL 076-265-2149 FAX 076-234-4208
E-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
URL <http://ninpro.jp/>